

学校教育目標

『瞳を輝かせ 伸びやかに未来を創る生徒』 <努力目標> <合い言葉>
・思いやりの心と 豊かな感性をはぐくむ(感性) → 感じる心を 磨き合おう → 豊かに
・確かに学び力と 活きる知性をはぐくむ(知性) → 学び力を 高め合おう → 確かに
・たくましい体と 強い実践力をはぐくむ(実践力) → 体と意思を 鍛え合おう → たくましく

めざす生徒像

『瞳を輝かせ、共に感じ、共に考え、積極的に、取り組み続ける生徒の育成』
(意欲) (感性) (考える力) (積極性) (粘り強く)

めざす学校像

『かかわるすべての人にとっての居場所となる学校の創造』
学校にかかわる人の可能性を最大限に活かし、全職員が専門職としての自覚と誇りをもって、生徒・保護者・地域と共に創る学校を目指して教育活動にあたる
【生徒にとっての居場所】 「目をかけ 手をかけ 心をかける」
【教職員にとっての居場所】 「ホウ・レン・ソウ」の「オ・ヒ・タ・シ」
【保護者・地域の方々にとっての居場所】 「協力・連携から共創へ」

1 基本方針

- 学校の「あらゆる場面」で心の教育を大切にし、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を支える力のバランスのとれた育みに努める。
→ 知・徳・体の調和のとれた育ち 学ぶ力育成 豊かな心育成 健やかな体育成
- 生徒が自ら学び続ける力を育てるため、一人一人の主体性を大切にした、個に応じた教育の推進に努める。
→ 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援・教育 学ぶ力の育成
- 教育課程を適正に実施し、部・学年・学級・教科経営の充実に努め、特別委員会の適切な運用を図る。
→ 信頼される学校の創造
- 教職員が子どもへの教育的愛情を持ち、互いの指導技術を交流し、学び合いながら実践的指導力や専門性の向上、授業改善に努める。
→ 教職員の資質向上
- 小中一貫したつながりを大切にし、保護者や地域住民の思いを反映した学校運営の工夫や改善に努める。
→ 社会に開かれた教育課程 一貫性・連続性のある教育

2 教育活動の重点

- 人間尊重の教育の推進
 - 学習活動や特別活動等を通じて、生徒が互いに励まし合ったり、高め合ったりしながら、良さや可能性を認め合える人間関係づくりに努め、生徒にとって安心して生活できる場となる学校づくりや、『子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり』を推進する。
→ 人間尊重の教育の推進 子どもの声を聴く
 - 他者を思いやる心の育成、高いモラルと潤いのある学校づくりを目指し、自主的に活動する生徒会活動等の推進と主体性を培う学級活動、ボランティア活動など、良き伝統を受け継ぐための指導を行う。
→ 豊かな心の育成 自治的な活動 いじめ防止
 - 自他の命を大切にする指導に力を入れる。
→ 命を大切にする教育
 - 教職員が、子どもとその家族、教職員同士とその家族を大切にするという広い視野を持ち、同僚性を発揮しながら様々な課題と向き合い解決できるよう自己研鑽するとともに、教職員自らが相互承認を高めていくよう努める。
→ 教職員の資質向上
- 分かる・できる・楽しい授業の実現に向けた「課題探究的な学習」の推進
 - 自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する「課題探究的な学習」を取り入れた授業の工夫を行う。
→ 課題探究的な学習の充実
 - 言語活動や体験的な活動等の充実を図るとともに、ICT機器を活用した学習の充実を図り、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を進める。

- **学ぶ力の育成** **課題探究的な学習の充実**
 - ・ICT機器の活用については、教師一人一人が積極的な実践に努めるとともに、実践事例や有効性を共有することで学校全体の情報教育の充実につなげる。
 - **ICTの活用** **教職員の資質向上**
 - ・基礎・基本の確実な定着を目指し、相談支援パートナー、学びのサポーターの活用も進め、T T・少人数指導などの充実を図る。
 - **学ぶ力の育成**
 - ・情報モラル教育に取り組み、情報化社会にたくましく対応できる資質・能力の育成を図る。
 - **豊かな心の育成**
- (3) 特別な配慮を必要とする子どもへの教育の推進
- ・通常学級と特別支援学級の区別なく、障がいのある生徒や特別な教育的支援が必要な生徒が安心して登校し学ぶことができる教育環境を整備し、特別支援教育コーディネーターを中心に、個別の指導計画・個別の教育支援計画に基づいた教育活動を展開する。
 - **特別支援教育**
 - ・行事や日常の活動を通じてインクルーシブを重視した連携を進め、誰にでも分かりやすく、安心して授業に取り組むことができる教育環境をつくるとともに、LGBTにも理解を深める。
 - **特別支援教育**
 - ・スクールカウンセラーや相談支援パートナーと連携しながら不適応生徒に対して丁寧な対応と指導・支援を行うとともに、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた組織的な支援体制を構築する。
 - **不登校支援**
- (4) 安全教育・防災教育の推進
- ・子どもが自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を育む実践的・実効的な安全教育を推進する。
 - **防災を含む安全に関する教育**
 - ・自然災害を含む様々な危機に対して、家庭や地域、関係機関との連携を密にして、校内や登下校等における安全確保に努める。
 - **家庭と地域とのつながり** **防災を含む安全に関する教育**
 - ・消防計画や防災・危機管理マニュアルを教職員全体で共有し、地域の防災拠点としての学校の役割について理解を深め、危機管理に対する意識を高める。
 - **教職員の資質向上**
- (5) 家庭・地域に信頼される教育活動の推進
- ・学校だよりや学校ホームページ等を活用し積極的な情報発信に努め、家庭や地域に信頼される教育活動を推進する。
 - **家庭と地域とのつながり** **信頼される学校の創造**
 - ・家庭や地域からの声にもしっかりと耳を傾けるとともに、学校運営協議会を生かした学校関係者評価を活用し、学校改善に努める。
 - **家庭と地域とのつながり** **信頼される学校の創造**
 - ・「みずばしょうクラブ」（地域学校協働活動推進事業）を活用しながら「小中一貫した教育」を推進し、9年間の連続性のある教育の実現を目指す。
 - **小中一貫した教育** **家庭と地域とのつながり** **信頼される学校の創造**